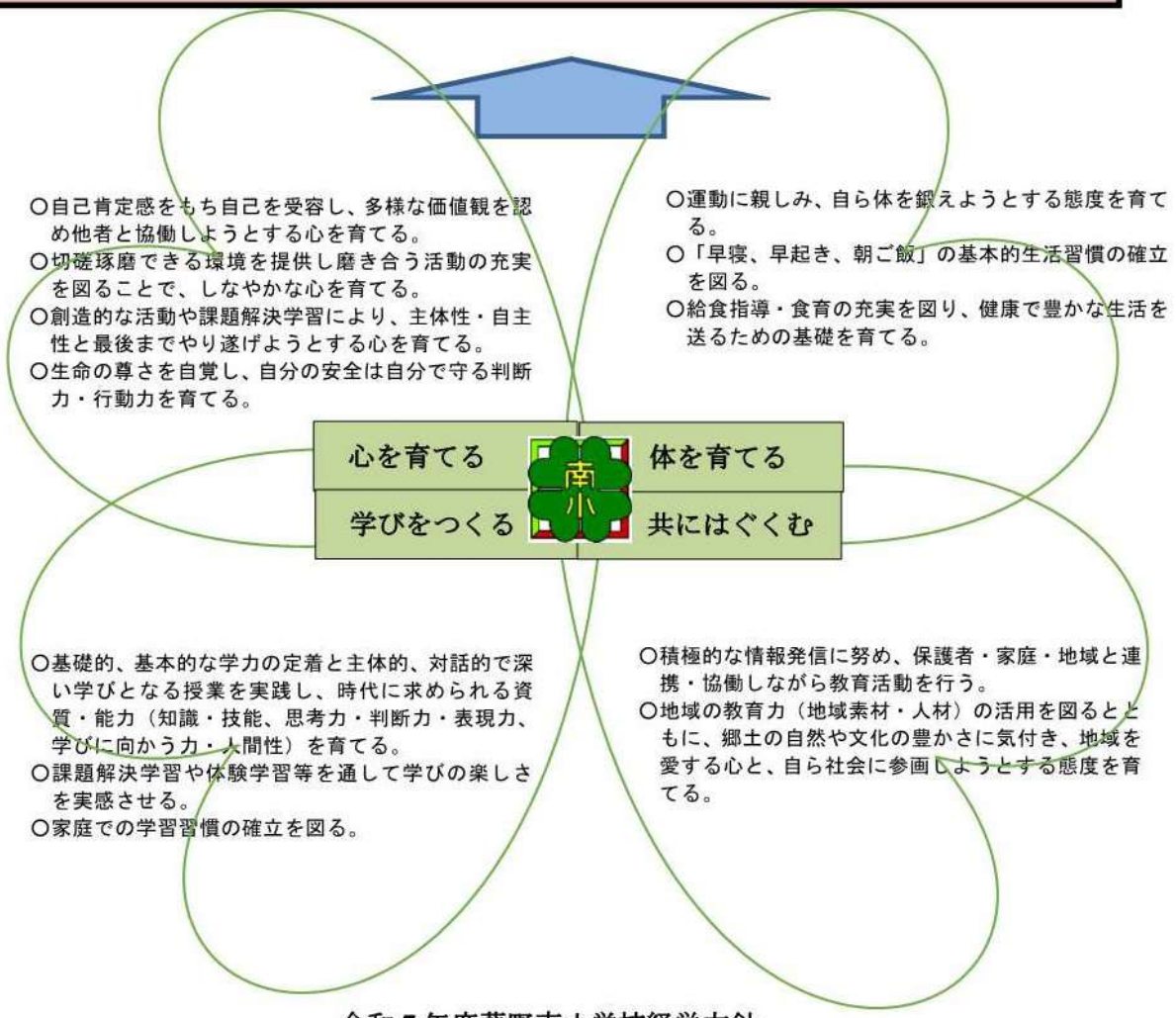
学校教育目標（めざす児童像）

自分のよさを知り、相手のよさを認め、磨き合い高め合う 子どもの育成



令和５年度藤野南小学校経営方針

○子ども一人ひとりを理解し大切にする児童支援体制を推進する。
○時代に求められる資質・能力を児童に育むために、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図る。
○家庭や地域との信頼関係に基づいた連携・協働を図り「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
○教職員間の同僚性を高め専門性の向上を図ると同時に、ワークライフバランスのとれた職場環境を目指す。
○藤野中学校区のこども園・小学校・中学校の連携をはかりキャリア教育を推進し、「つながる力・自律する力・乗り越える力・見通す力」を育む。
○危機管理を徹底する。

（重点１）資質・能力の育成	（重点２）家庭・地域との連携	（重点３）タブレットＰＣの活用
小規模校の利点を生かし、一人ひとりの子どもをより深く理解し、時代に求められる資質・能力を育むために校内研究を中心に「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組む。	地域の教育力（地域素材・人材）の活用を図るとともに、家庭・地域と連携・協働しながら学習を行い、保護者に感謝の思いと地域を愛する心を育てると同時に、藤野南小学校に誇りと愛着を持つ。	タブレットＰＣの有効な使い方を検証し、個に合った教育を提供するだけでなく、高速ネットワークを使い他校や外部協力者とオンラインでつながり学習を展開し、多様な考え方を知り、切磋琢磨できる環境を子どもに提供し、小規模校の課題の解消を目指す。